

令和5年度  
静岡県立中央図書館  
主要施策・重点取組

(件 名)

## 令和5年度の基本方針と主要施策について

(県立中央図書館)

### 1 当館の基本方針

- 資料情報センターとしての図書館
- 県民の生涯学習の拠点としての図書館 →県民の教育及び文化の向上に寄与する
- 市町立図書館のための図書館  
～県民の「調べる、考える、解決する」を支援する～

### 2 令和5年度主要施策

#### (1) 専門書を中心とする資料収集と地域資料の充実

- ・一般資料については、専門書を中心に計画的かつ精選した資料収集に努めます。
- ・地域資料については、静岡県内に関連する資料を網羅的に収集することに努めます。
- ・資料費予算の確保に努めるとともに、市町立図書館との役割分担を考慮し、その予算を有効に執行します。

#### (2) レファレンス・課題解決支援サービスの充実

- ・職員がレファレンス技術の向上に努め、組織全体のスキルを高めることで、レファレンスサービスの充実を図ります。
- ・レファレンス、講座や研修を通じて、県民、県内図書館職員、教職員等に、オンラインデータベース等、多様な情報ツールの活用を促進し、課題解決支援サービスを充実します。
- ・課題解決支援サービスのうち、特に「健康医療情報サービス」については、館内横断的な組織を中心に、県民の健康・医療に関するニーズに応えることができるよう関係コーナーやWebページ等の充実を図るとともに講演会等の関連事業にも積極的に取り組みます。

#### (3) 子どもの読書活動推進への寄与

- ・子どもの読書活動を推進するため、子ども図書研究室の有効活用を図るとともに、講座・研修会等の充実に取り組みます。
- ・新館での子ども図書館を見据えて、子ども図書研究室と子どもコーナー「どんぐりひろば」を連携させた運営の在り方を研究します。

#### (4) 資料保存と貴重書等のデジタル化の推進

- ・未来の県民のために資料を着実に保存します。また、館外保管している資料の維持管理にも配慮します。
- ・地域資料を含む貴重書等のデジタル化を推進し、それら資料の保存と利活用の促進に努めます。
- ・資料の修復や保存のための媒体変換に取り組みます。

#### (5) 県史編さん収集資料の整理及び公開

- ・県史編さん収集資料のデジタル化による公開に向けた作業を進めます。

**(6) 県域全体への広報とサービス向上**

- ・当館が県域全体で多くの県民に活用されるよう、図書館サービスを積極的に広報し、認知度の向上を図ります。
- ・県域サービスの拡充のため、協力貸出及びインターネット予約による市町立図書館等受取サービス等を進めます。

**(7) 特色ある展示・企画等の実施、葵レク（図書館講座）の充実**

- ・県の各部局や外部団体と連携して特色ある展示を行います。
- ・団体・個人を問わず、図書館や活字文化に関わる方々と幅広い分野で協働します。

**(8) 県内図書館のさらなる活性化への寄与**

- ・県内図書館職員の資質向上のため、研修内容の充実や運営手法の工夫に努め、職員研修の充実を図ります。
- ・市町立図書館等を支援する要請訪問を実施するとともに、市町立図書館等への情報提供の充実を図ります。
- ・県内図書館の振興のため、県図書館協会と連携し、本県の図書館活動がさらに活発化するようリードします。

**(9) 現有施設における最良のサービス展開**

- ・施設・システム等を含め安全・安心な環境整備に配慮します。
- ・現有施設において、新館を見据えつつ、利用者が満足できる各種サービスの改善・向上に取り組みます。
- ・障害があるなど、利用が困難な方に対するサービスの改善・向上に取り組みます。
- ・電子図書館サービスの充実を図るなど、図書館DXを推進し、新館を見据えたより利便性の高いサービスの在り方を検討します。

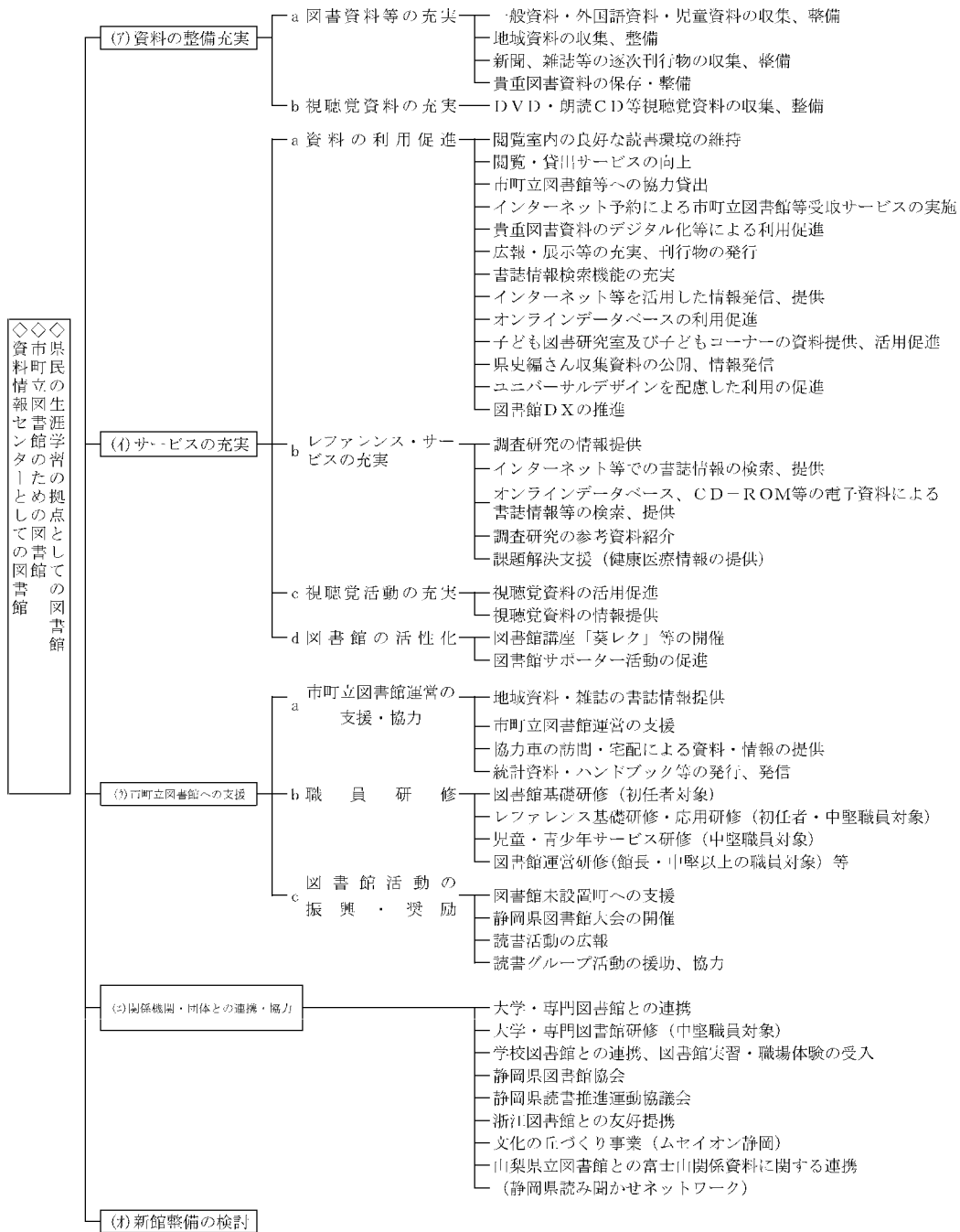
**(10) 職員の資質向上**

- ・県立中央図書館職員としての専門性を高め、力量を向上させるため、「県立中央図書館司書育成指針」に基づき、館内研修の実施及び外部研修への積極的な参加を組織的・計画的に行うとともに、研修報告会や館内・館外の研修・講座の講師を務めることで、その成果の普及を図ります。
- ・館内委員会や担当職員を中心に、図書館サービスの研究開発に取り組みます。

**(11) 新県立中央図書館整備への対応**

- ・新図書館整備課等と連携して、新県立中央図書館づくりに積極的に取り組みます。
- ・新県立中央図書館へのロードマップ（行程表）に基づき、計画的に新館への移行準備を進めます。

# 令和5年度基本方針・事業体系



令和5年度各班等重点取組調書	
( 総務 ) 課 ( 総務 ) 班	
令和5年度主要施策	(9) 現有施設における最良のサービス展開
事業体系の位置付け	(イ) a 資料の利用促進 － 閲覧室内の良好な読書環境の維持
重点取組名	<b>利用者が安心して安全に利用できる環境整備</b>
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築から54年経過した施設であるため、老朽化による不備が著しく配管類の故障や不具合が頻繁に発生している。新館整備計画案が具体的になり、抜本的な改修工事は望めないが、その都度必要な修繕を執行していく。</li> </ul>
取組の目的・内容・方向性・計画等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 月一度全職員で行う安全チェックリストを活用し、危険箇所施設、設備等の不具合にはできるだけ速やかに対応する。</li> <li>・ 安全チェックリストに対する対応情報等は、掲示板等で職員間で情報共有する。</li> <li>・ 雨漏り等、直接利用者に係わる情報については、掲示物等で情報提供する。</li> </ul>
達成目標 (期待される効果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者、職員の安全安心な環境の提供。</li> <li>・ 施設・設備の不具合による事故の件数0件。</li> </ul>
備考	

令和5年度各班等重点取組調書	
( 企画振興 ) 課 ( 企画 ) 班	
令和5年度主要施策	(10)職員の資質向上
事業体系の位置付け	(イ)サービスの充実
重点取組名	<b>館内職員研修の体系化及び運用</b>
現状・課題	当館職員に対する従来の館内職員研修(全体会終了後に実施)は体系化されておらず、その内容も職員の資質を向上させるために系統立てたものとはなっていない。
取組の目的・内容・方向性・計画等	司書育成指針推進委員会と協働して館内職員研修を体系化したうえで、令和5年度中に運用を開始する。体系化にあたっては、新館での図書館サービスの向上に繋げることも視野に入れて、当館職員の資質向上を目指す。
達成目標 (期待される効果)	研修の体系化及び研修内容の具体化を図ったうえで、従来は原則1回/月であった研修回数を倍増させて実施する。
備考	

令和5年度各班等重点取組調書	
（ 企画振興 ） 課 （ 振興 ） 班	
令和5年度主要施策	(8) 県内図書館のさらなる活性化への寄与
事業体系の位置付け	(ウ) 市町立図書館への支援
重点取組名	<b>静岡県図書館大会 第30回記念大会の開催</b>
現 状 ・ 課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本年の図書館大会は第30回の節目を迎えており、記念大会として開催できるよう数年前から準備を進めている。</li> <li>・ 昨年度の図書館大会参加者アンケートの回収率が低い(30%)ため、正しい分析と評価を出すことが難しい。</li> <li>・ 図書館大会基金の運用を最終年度とし、適正に執行する必要がある。</li> </ul>
取組の目的・内容・方向性・計画等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図書館大会の運営を円滑に進め、記念大会にふさわしい内容で開催する。</li> <li>・ 参加者アンケートの回収率を高める方策を実行する。</li> <li>・ 運営委員と連携を深め、運営しやすい環境を作る。前年度アンケートでの困りごと、提案内容の見直しをする。</li> </ul>
達 成 目 標 (期待される効果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参加者アンケートの回収率 40%以上</li> <li>・ 参加者アンケートの満足度 90%以上</li> </ul>
備 考	

<b>令和5年度各班等重点取組調書</b>	
( 資料 ) 課 ( 図書 ) 班	
令和5年度主要施策	(11) 新県立図書館整備への対応
事業体系の位置付け	(オ) 資料の利用促進
重点取組名	<b>新図書館に向けた児童資料の整備</b>
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度までに児童資料の予算では、全点収集分の購入のみで児童選書で選定した資料については購入ができていない。</li> <li>・子どもコーナー「どんぐりひろば」の書架が少なく新しい資料を配架することができない。</li> </ul>
取組の目的・内容・方向性・計画等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度は、新館に向けて児童資料の充実のための予算獲得できたので、これまで購入できていない選定資料、利用の多い資料の複本や汚破損資料の買い換えを行い、どんぐりひろばの資料充実を図る。</li> <li>・また、新館での本格的に児童サービスを行うための資料の購入、予算の執行を計画的に進める。</li> </ul>
達成目標 (期待される効果)	<p>どんぐりひろばの資料の更新及び資料の充実を図ることにより、利用者に対して新しい資料を提供することができ、利用を促進することができる(特に小学生の読み物を充実させることにより新たな利用者の獲得を図る)。</p>
備考	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんぐりひろばの書架増設</li> <li>・新館で提供する資料の保管場所の確保</li> </ul>



令和5年度各班等重点取組調書

(資料) 課 (新聞雑誌) 班

令和5年度主要施策	(11)新県立中央図書館整備への対応								
事業体系の位置付け	(オ)新館整備の検討								
重点取組名	<b>新館整備に向けた所蔵資料データ公開体制の構築</b>								
現 状 ・ 課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新館移転までのI Cタグ貼付業務の事前作業として紙台帳管理の雑誌(平成6年2月以前)のデータ化をR3年度から着手</li> <li>・現計画では、R4～5年度の2年間で4冊×38人分を入力予定であったが、転出者等で作業が完了できないケースあり</li> </ul> <p>(R5年3月28日現在進捗状況) 39冊/159冊</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>終了</th> <th>確認中</th> <th>各自配布</th> <th>未着手</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>39冊</td> <td>7冊</td> <td>29冊</td> <td>84冊</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R5当初予算では外部委託費は未計上</li> <li>・未入力120冊分の作業は今後も全館体制で作業を継続する必要あり(外部委託で全て対応は困難)</li> </ul>	終了	確認中	各自配布	未着手	39冊	7冊	29冊	84冊
終了	確認中	各自配布	未着手						
39冊	7冊	29冊	84冊						
取組の目的・内容・方向性・計画等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業スケジュールの見直し</li> <li>・作業内容見直し(マニュアル改善等)による職員の負担軽減</li> <li>・R6当初予算における外部委託予算の確保</li> </ul>								
達 成 目 標 (期待される効果)	<p>(最終目標) 令和8年上旬までに作業終了 (今年度目標) 1人1冊終了</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>40冊</td> <td>40冊</td> <td>40冊</td> <td>120冊</td> </tr> </tbody> </table>	R5	R6	R7	計	40冊	40冊	40冊	120冊
R5	R6	R7	計						
40冊	40冊	40冊	120冊						
備 考									

令和5年度各班等重点取組調書	
( 調査 ) 課 ( 一般調査 ) 班	
令和5年度主要施策	(2)レファレンス・課題解決支援サービスの充実
事業体系の位置付け	(ウ)b 職員研修 (エ)関係機関・団体との連携・協力
重点取組名	<b>県民、県内図書館職員、教職員等に向けたレファレンス研修・課題解決支援サービスの充実</b>
現 状 ・ 課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県内図書館職員を対象に基礎・応用・出前研修を、静岡県視覚障害者情報支援センターと連携して音訳点訳講座を、県民を対象にオンラインDB講座を実施している。</li> <li>・ 研修や講座の実施に当たっては、組織及び職員としての研修担当能力の維持・向上に努めながら、受講者の置かれている状況や課題、ニーズ等を把握した上で、内容等を更新していくことが求められる。</li> <li>・ 県立図書館が課題解決支援に役立つ機関であることが県民に知られていない。</li> </ul>
取組の目的・内容・方向性・計画等	<p>(1) 県内図書館職員向け研修の充実 昨年度までの参加者アンケートの結果等を踏まえ、研修内容の充実を図る。出前研修については当館で用意した研修メニューを基本としつつ、依頼館の要望にもできるだけ対応する。</p> <p>(2) 教職員向け研修の実施 総合教育センターが主催する研修で、情報収集や著作権等に関する講義の講師を担当する。</p> <p>(3) 組織及び職員の研修担当能力の維持・向上 組織としては、一定の水準で持続的に研修を担当できるように努める。職員としては、積極的に研修に参加し、新しい情報や技術、知識の習得に努める。</p>
達 成 目 標 (期待される効果)	<p>(1) 県内図書館職員等のレファレンス技術の向上 (研修受講者アンケートの理解度及び有益度5段階の3.5以上)</p> <p>(2) 図書館の課題解決支援の認知度の向上 (目標レファレンス件数5,000件 令和4年度4,710件)</p>
備 考	

<b>令和5年度各班等重点取組調書</b>	
( 調査 ) 課 ( 一般調査班・健康医療情報サービス委員会 ) 班	
令和5年度主要施策	(2)レファレンス・課題解決支援サービスの充実
事業体系の位置付け	(1)サービスの充実
重点取組名	<b>県民に向けた医療健康情報の発信と提供による課題解決支援サービスの充実</b>
現 状 ・ 課 題	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課題解決支援の拡充を目的に健康医療情報コーナーの充実を図っている。</li> <li>・ 講師を招いての「健康医療情報講演会」の開催。</li> <li>・ 「がん情報ギフト」の市町図書館への提供。</li> </ul> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 健康医療に関するレファレンス業務を充実させるための調査課との連携。</li> <li>・ 課題解決支援のために静岡県立中央図書館が健康医療情報の充実を図っている機関であることが県民に知られていない。</li> </ul>
取組の目的・内容・方向性・計画等	<p>(1) 継続的な情報提供 「健康医療情報コーナー」及び「がん情報コーナー」の資料の充実と、利用者の課題解決支援につながる配架や展示を中心に情報提供を継続的に行う。</p> <p>(2) 県民への支援事業の実施 県民への幅広い支援を目的に「出張図書館」「まちの保健室」「健康医療情報講演会」「がん情報ギフトの提供」を実施する。</p> <p>(3) 情報発信の強化 オンラインデータベースの利用促進やSNSを使用しての情報発信を継続的に行う。</p>
達 成 目 標 (期待される効果)	<p>(1) 県民への支援事業の充実 (アンケートの満足度・有益度5段階の3.5以上)</p> <p>(2) 健康医療関係資料の利用促進 (特集展示資料の平均貸出回数20回以上 令和4年度15回)</p>
備 考	

<b>令和5年度各班等重点取組調書</b>	
(調査) 課 (地域調査) 班	
令和5年度主要施策	(1) 専門書を中心とする資料収集と地域資料の充実 (4) 資料保存と貴重書等のデジタル化の推進
事業体系の位置付け	(ア) a 図書資料等の充実－地域資料の収集、整備 (イ) a 資料の利用促進 －貴重図書資料のデジタル化等による利用促進 (ウ) a 市町立図書館運営の支援・協力 －地域資料・雑誌の書誌情報提供
重点取組名	<b>地域資料の収集・保存・提供</b>
現状・課題	(1) 新館移転に向けて、地域貴重資料のデジタル化等について検討する必要がある。 (2) 劣化の進む視聴覚資料のうち、地域に関する資料の媒体変換を計画的に進める必要がある。 (3) 地域資料の受入が遅れており、県民サービスに支障が生じている。また、受入遅れにより地域資料書誌の提供についても遅延しているため、市町立図書館から進捗を確認される例も生じている。
取組の目的・内容・方向性・計画等	(1) 有識者による委員会を開催し、地域貴重資料のデジタル化等について調査検討を行う。 (2) 地域に関する視聴覚資料の媒体変換計画を策定する。 (3) 当館受付後3か月以内に提供できるよう、取り置き資料の書誌作成を集中して進める。
達成目標 (期待される効果)	(1) 地域貴重資料のデジタル化計画の策定。 (2) 地域に関する視聴覚資料の媒体変換計画を策定し、令和6年度以降の予算要求資料とする。 (3) 地域資料書誌提供の正常化。
備考	

<b>令和5年度各班等重点取組調書</b>	
(調査) 課 (歴史文化情報センター) 班	
令和5年度主要施策	県史編さん収集資料の整理及び公開
事業体系の位置付け	資料の利用促進 - 県史編さん収集資料の公開、情報発信
重点取組名	<b>県史編さん収集資料の公開・広報・普及</b>
現 状 ・ 課 題	現状 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県史編さん収集資料(写真資料)の公開準備</li> <li>・ 近代資料の整理</li> <li>・ 管理システム(データベース)への登録</li> </ul> 課題 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資料所蔵者情報の確認が困難である。</li> <li>・ 目録作成や「資料紹介」に利用する資料の解読など、資料の広報に多くの時間を要する。</li> </ul>
取組の目的・内容・方向性・計画等	方向性 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 写真資料や文書資料の公開により利用者からの問い合わせが増加しており、主に自然災害誌に掲載した写真資料と布達(明治初期の行政命令)の公開申請を行う。</li> </ul>
達 成 目 標 (期待される効果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資料の公開により資料の閲覧・利用が増加する。</li> <li>・ センター内公開及びインターネット公開資料 50 点、資料の利用件数 75 件。</li> </ul>
備 考	令和4年度公開資料           126 点 令和4年度資料利用件数   178 件 移転作業のため令和5年11月から休館

令和5年度各班等重点取組調書	
( 調査 ) 課 (歴史文化情報センター) 班	
令和5年度主要施策	
事業体系の位置付け	
重点取組名	<b>本館への引越し業務</b>
現 状 ・ 課 題	<p>現状・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県史編さん事業関係の書類や資料を整理する</li> <li>・ 中世資料のみ、配置の順番が異なる →資料を探しにくく、利用者を待たせる</li> </ul>
取組の目的・内容・方向性・計画等	<p>計画等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和5年5月アナウンス開始</li> <li>・ 令和5年11月1日より休館</li> <li>・ 令和6年1月引越（本館へ移転）</li> <li>・ 開館形態を検討する</li> <li>・ 資料のわかりやすい配置を検討する →日付順から家番号順へ変更 →システム上でも変更</li> <li>・ 開架図書及び閉架図書の整理確認を行い、本館との重複書籍を確認する</li> <li>・ 県史編さん資料の整理確認をする</li> </ul>
達 成 目 標 (期待される効果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本館移転のために資料や書籍を確認・整理することでスムーズな引越し業務を行うことができる</li> <li>・ 資料群を整理することで、誰でも出納できる資料群になり、利用者を待たせなくなる。</li> </ul>
備 考	